

災害アーカイブ展「交流会」

【趣旨】

アーカイブ展に出展いただく皆さんが集まり、日頃の活動や展示内容を紹介する「交流会」を下記日程で企画しています。各地区から自由にご発表いただき、防災活動・復興にむけた活動を行っている団体同士の意見交換の場とします。また、歴史的な水害史料活用研究会、株式会社 LIXIL から展示に関する説明を行っていただき、過去の水害の歴史や、今後の災害に備えたトイレ環境の重要性について学ぶ機会といたします。

【日程】

令和4年10月12日(水)13時30分～17時00分

【場所】

長野市役所 1階 市民交流スペース アーカイブ展展示会場(長野市鶴賀緑町1613番地)

【タイムテーブル】

1. 13:30-13:45 松代 「被災の経験を地域の宝に」
2. 13:45-14:00 長沼 「【穂保希望のつどい】活動報告」
3. 14:00-14:15 佐久市常和 「常和を元気にする復興まちづくり」
4. 14:15-14:30 (株)LIXIL 「災害配慮トイレのご紹介」
(休憩)
5. 14:45-15:00 古里 「被災地の今」
6. 15:00-15:15 上田市真田 『立ち上がった住民自治組織「防災は市民一人ひとりが担当者」』
7. 15:15-15:30 若穂 「ピンチをチャンスに変えて 再起のシンボル「綿内産ふっこう豆腐」
8. 15:30-15:45 歴史的な水害史料活用研究会 「洪水がつくった千曲川 100年前とどう変わったか」
(休憩)
9. 16:00-16:15 篠ノ井 「忘れない あの日 あの時」
10. 16:15-16:30 豊野 「災害×新たなつながり 福祉のまち豊野」
11. 16:30-16:45 小布施 「住民防災プロジェクトで支え合いと命の安心を」



昨年度の発表の様子

お問い合わせ

信州大学教育学部 廣内研究室(担当:内山)

TEL:026-238-4087